

## つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和5年度）2023

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	7	3	月	8:00	11:00	藤金市民の森	6名
活動名称	藤小 野外学習支援					報告者：吉井 優	

### 1、活動目的

8年前から依頼されて実施している藤小3年野外学習支援を今年も依頼された。今年からは6月から実施となりました。小学生が樹林地や河川の里山環境と触れ合うことで、生態系サービスを実感し、未来にむけて鶴ヶ島地域の生態系サービスを増大してくれることを期待したい。

### 2、活動内容ほか

野外学習第2回は、1組が3チームに分かれ、市民の森と大谷川の生態系について、現場の樹木や川の様子を題材に生態系の説明を行なった。もう一組は川に入り上流から魚を追い込み、下流で網を張る追い込み漁を行った。結果、魚はいなかったが、アメリカザリガニ9匹が捕れた。川に入るのを嫌がる児童には、笹船づくりを教え、大谷川を楽しんでもらった。

### 3、評価：

前回は、森を会場としたが、教室でもできる講義もあった。父兄から市民の森を使った説明をリクエストされたこともあり、藤金市民の森の生態系を目の前の樹木を使って説明するようにした。割と熱心に聞いてくれたと思う。川遊びは、川に入る前から期待が大きいようで、夢中になっていた。みんなが川で暴れまわった結果、泥がまきあがり泥水になった結果、きれいな川で遊べると想像していた子どもには、期待はずれになったようだ。

### 4、課題

今回里山クラブの会員は6名参加であり、川遊びの安全確保には十分ではなかったが、父兄の協力により安全確保ができた。来年も会員の参加不足が懸念されるため、父兄の協力を依頼したい。魚とりは、網を張る関係で上流から追い込む手法としたが、泥水を運ぶことになり、快適な川遊びにはならなかった。9月の里山体験会では、竹林への移動に車道側を使い、川沿いの遊歩道を歩くことによる、魚の危険察知を防ぐ手法をとる。下流から上流に魚を追い込み、竹林脇で上流の待ち伏せチームと、追い込みチームで挟みうちにして、魚を追い込む方法を実施予定。

#### <里山参加会員>

小沼、小嶋、佐野、小澤邦、吉井、鈴木勝、（自然を守る会）島崎、佐々木

#### <活動写真>

